

令和4年度の重点課題

○男子

「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m」「立ち幅跳び」の4項目で令和3年度、4年度ともに、県平均値かつ全国平均値を下回っている。

○女子

「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ボール投げ」の5項目で令和3年度、4年度ともに、県平均値かつ全国平均値を下回っていた。さらには「体力合計点」も県平均かつ全国平均値を下回っていた。

特に「20mシャトルラン」の項目では、県平均値と比較し、男子▲12.31ポイント、女子▲6.77ポイントであり県平均と比較し最も大きな乖離があった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○持久力の改善

校内持久走記録会を実施し、持久力の改善を図る。その際には、順位ではなく自分のタイムを意識して練習や本番に取り組めるように、取組内容を「校内持久走大会」から「校内持久走記録会」に変更し、教師からの声掛け以外でも、タイムを意識した行事となるような取組を行った。

また、本番を含め全4回の持久走の活動では、毎回タイムを記録するだけでなく、今回の練習の反省点や次回への課題を書くことができるワークシートを学校で統一した。自分自身の持久力向上へ課題をもたせて、主体的に活動に取り組める工夫を取り入れた。

○外遊び週間の実施

大縄大会を年に2回行い、休憩時間には学級ごとに大縄跳びの練習を行った。当日まで休憩時間に学級で練習に取り組むことを通して、全体として跳躍力や瞬発力、持久力などを付ける。また休憩時間に外に出ることが少なかった児童に対して、休憩時間に体を動かす機会を設け、学校全体として体を動かす習慣を身に付けさせる。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.20	17.20	33.53	42.40	37.67	9.85	135.00	18.56	49.13	第5学年	18.46	20.00	41.75	42.31	50.54	9.33	142.54	14.62	60.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.20	17.20	33.53	42.40	37.67	9.85	135.00	18.56	49.13	第5学年	18.46	20.00	41.75	42.31	50.54	9.33	142.54	14.62	60.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	33.33	0.00	0.00	第5学年	53.85	30.77	7.69	7.69

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第3学年	100.0	0.0	0.0	0.0	第3学年	63.6	27.3	0.0	9.1
第4学年	90.9	9.1	0.0	0.0	第4学年	66.7	33.3	0.0	0.0
第5学年	67.0	33.0	0.0	0.0	第5学年	54.0	31.0	8.0	8.0
第6学年	38.5	46.2	7.7	7.7	第6学年	38.5	23.1	23.1	15.4
平均	74.1	22.1	1.9	1.9	平均	55.7	28.7	7.8	8.1

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 全般的な体力の向上
  - ・学校独自のリズム運動(準備体操の代わりとなる、リズムに合わせた柔軟や屈伸、伸身運動、体幹トレーニング)を考え、児童が楽しみながら運動をする機会を増やす。年間を通してリズム運動を行い、全校で楽しみながら運動をするとともに、全般的な体力の向上を図る。
- 立ち幅跳びの改善
  - ・立ち幅跳びに必要な背筋力はリズム運動の中に重点的に取り入れる。年間を通して行うことで筋力を付け、改善を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

- 外遊び週間の実施
  - ・大縄大会を年3回行い、休憩時間には学年ごとに大縄跳びの練習を行う。その際、大縄大会の前一週間を外遊び週間とし、休憩時間に外で遊ぶことが少なかった児童に対して、休憩時間に外で体を動かす機会を設ける。各学級で目標回数を設定しその回数に向かって学級で練習に取り組むことで、学級の団結を深めるとともに、運動をすることで達成感をもたせ、体を動かす喜びへつなげた。

重点課題

情意面での課題

→学校独自の意識調査(運動をすることが好き)あり

○男子

・肯定的な評価をしている児童が全体の96%である。しかし、学年が上がることによって「好きから」や「好き」と回答する児童が増加している。

○女子

・肯定的な評価をしている児童が全体の84%である。

・男子と比べ肯定的な評価をしている児童の割合が12%多い。

体力面での課題

○男子

・「握力」以外、県平均かつ全国平均を下回っている。「20mシャトルラン」においては県平均を12ポイント下回っている。

○女子

・「立ち幅跳び」のみ、県平均かつ全国平均を下回っている。

○全体

・特に男子でみられる傾向向であるが、運動が好きだが、体力に課題のある児童が多い。

令和6年度の重点目標値

- 女子の運動することが好きな児童の割合を90%以上にする。(大縄大会の実施)
- 「立ち幅跳び」の改善を図る。(リズム運動の実施)
- 男子の「体力合計点」の改善を図る。(リズム運動、外遊び週間の回数を増やす)